

ヨリ実施期ニ入ルヲ以テ之カ彼活方ニ関シ郵船司  
厨部員ヨリ成ル郵司同友會及甲機部員ヨリ  
成ル属員協會カ手當復活ノ嘆願書ヲ提出  
シ日本海員組合カ背後ニ在リテ操縦シ居レルコ  
トハ既報ノ如シニ對シ郵司同友會ハ  
陽ニ無条件彼旧ヲ主張スルニ幹部殊ニ會長  
新中登美ハ密ニ會社當局ト欵ヲ通シ最近  
手當率一即チ現手當約ハ割見者ヲ以テ解決  
ニ應スヘキ意留ヲ有シ

日本海員組合ハ自ラ表面ニ立タス殆ント全部  
日本海員組合員タル属員協會ヲシテ彼等ノ  
歎願ヲ為サシメ居タルニ會社ハ在昔日ヲ眩マシ  
テ容易ニ對策ヲ發表セズシテ属會員ヲシテ徒

ラン焦燥セシムルニ過キサリレシ以テ海員組合内ニ於テ  
三月下旬長高幹部會ヲ開キ凝談シタルカ其  
内容ハ極秘ニ附シ居レルニ據分ヌル所ニ依リハ若  
シ會社カ船員ノ要求ヲ容シサル場合ニ再々罷業  
等ニ出ルハ社會ノ同情ヲ失スヘキ事アルニ其ノ供  
會社ニ斷ニ委スニ忍ヒサルヲ以テ海外ニ於ケル航  
海中ノ船員ヨリ急業等ノ非常手段ヲ用ヒント  
スル説出ラタルニ確定ニ至ラス其ノ他ノ案ニ於テ下  
級船員ノ生活ヲ補償スル意味ニ於テ月収百五十  
円以上ノ者ト手當ヲ全廢シ百円以上ハ相當ノ賦率ヲ  
附シ百円以下ハ舞舞件按法ニテ妥協ニ應セトス  
ル腹案ヲ作成シタル由ナルカ高級船員ノ団体ナル  
青年同窓會ヲ中心トスル船員弁手當ノ復活ヲ懇